

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.118

2025.10月-12月



12/26 (金)

しばざくらコンサート関連事業
カジャ ソロ ライヴ
KAJA SOLO LIVE

1/11 (日)・12 (月・祝)

映画令和7年度優秀映画鑑賞推進事業
新春アピカ名画座 35mmフィルムで
小津安二郎監督
作品特集

音楽の話・輪・和・Wa
「繋がり」

■寄稿 頃安 利秀
新おんがく談義

第164回
県民芸術劇場
和楽器オーケストラあいおい
「邦楽彩りキャンバス」
二月十七日

二月十七日
発表会&作品展示

令和7年度伝統文化親子教室事業
「アピカでつなぐ伝統文化 2025」
★教室の部★

しばざくらコンサート関連事業
KAJA SOLO LIVE
十二月二十六日

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

12月26日(金) 19時開演(18時開場)

しばざくらコンサート関連事業

KAJA SOLO LIVE

都筑博行(FANCY KOH)

今回のKAJA SOLO LIVEにむけ、作家・演出家・エディトリアルデザイナーで
チキン ジョージ ザ タンペンス
CHICKEN GEORGE45周年記念本メインインタビュー、THE TANPENS編集長
でもある都筑博行さんより寄稿いただきました。

先日、僕は久しぶりにKAJAさんのライブ
を見に行った。神戸のライブハウスCHICKEN
GEORGEで行われた「KAJA & JAMMIN'
40th. Anniversary Live in KOBEKAJA &
JAMMIN'」でのことだ。

40周年をむかえたKAJAさんの演奏は、円
熟味といった言葉では表現しきれない奥深さ
とやさしさとカッコよさがあった。会場は
盛り上がり、席を立てて踊った。つまりは最
高に楽しかった。

KAJAさんのライブをはじめて見に行った
のは、いつのことだっただろう。今までいわ
ゆるロックしか聞いてこなかった僕は、その
日衝撃を受けた。今までにないリズム。今ま
でにないメロディ。身体の奥のすごく柔らか
いところを刺激され、いつのまにか体が揺れ
ていた。その日、僕はKAJAさんを知り、ボ

ブ・マーリーを知り、レゲエを知った。

それから何度もKAJAさんのライブへ行っ
た。そのたびにレゲエの楽しさを感じた。
これは少し笑い話になるかもしれないけれど、
最初JAMMIN'さんて誰だろう、どこにいる
んだろう、今日は来っていないのかなと探した。

「ばかだな、それって俺たちのことだよ」
と先輩が教えてくれた。「Jammin」は、ジャ
マイカ英語(パトワ語)で「楽しく過ごす」
「踊る」という意味。つまりKAJAさんと楽
しい時間を過ごして踊る僕らを指しているの
だ。

KAJAさんは日本ではじめて「レゲエ」を
ポピュラーなものにした。41年目のKAJAさ
んがこの西脇で僕らにどんな世界を見せてく
れるのだろう。僕はそこでJamminになりたい
と思う。

枠を越えた魂の響き-KAJA

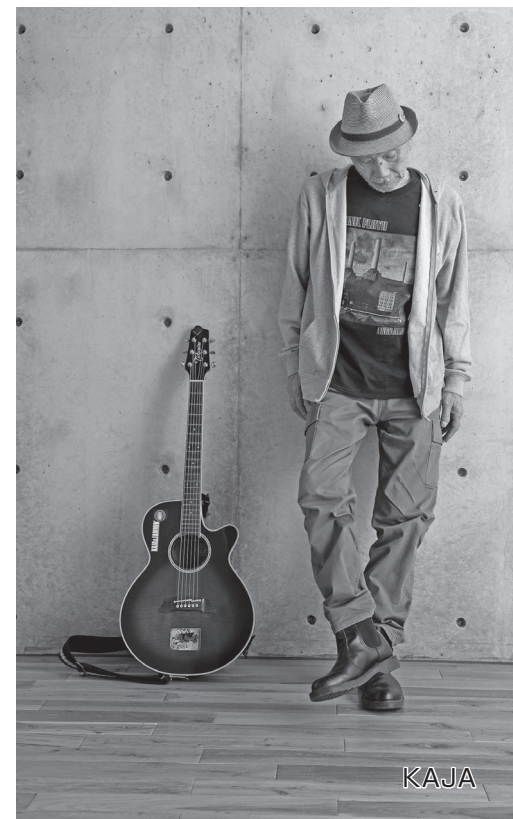
「音楽で世界を変えることは難しいけれ
ど、音楽は世界を変えようとしている人を
必ず励ます」。先輩に言われた心に残る言
葉の一つです。

初めてKAJAさんの歌声を聞いたときに
心が震えたかということ、実はそうでもなか
った記憶が……。だけど、なぜかまた聴
きたくってライブに足を運び、その歌声
と曲の合間に出てくるKAJAさんの人間ら
しさにひかれ、気が付けば20年以上が過ぎ
ています。行くたびに何か励まされ、心が
軽くなって、ライブ会場を出て帰路につき
ます。

ここアピカホールで、KAJAさんの魅力
を共有できる日がやっと来ました。KAJA
さんを知らない人にこそ聴いてほしい。出
会ってほしい。

私にとってそうであったように、きっと
すべての人の心に何かしらの種を蒔く、そ
んな時間になるはずです。

しばざくらコンサート実行委員 桑野修一



KAJA プロフィール

Japanese Reggae Band「KAJA&JAMMIN'」のボーカルギターであり、関西ミュージックシ
ーンの重鎮。

「Japanese Reggae界の先駆者」「浪速のボブ・マーリー」と言われる。
日本に留まらず、その音楽活動はヨーロッパ、中国など世界各国にわたる。現地でも各新聞社、
雑誌も挙ってKAJAの名を書き連ねる。
ソロLIVEとしては年間200本近くをこなす。チャリティーにも積極的に参加、企画。人々へ
KAJAの「LOVE&SOUL」を伝えている。

- ・TVドラマ「ハングマン4」主題歌「ありがたや節」
- ・TV番組「本気ナイトパフォーマンス」テーマソング「RUNNING」
- ・日本初のレゲエ大祭「レゲエサンスブラッシュ」日本代表レゲエバンドとして出演
- ・テレビ朝日「らくごのご」テーマソング「Dance We Dance」
- ・阪本順治監督新作「ぼくんち」挿入歌4曲

チケット予約情報

KAJAコンサート内容

12月26日(金)

19時開演(18時開場) 終演20時30分

入場料 一般 3,000円 高校生以下 500円

チケットは申込フォーム又はお電話より予約受付中!





2026年1月17日(土) 作品展示 9時30分～16時
(アピカホールホワイエにて)
発表会 10時30分開演

アピカ 令和7年度伝統文化親子教室事業(地域展開型)

アピカでつなぐ伝統文化 2025 ★教室の部★

発表会&作品展示
和楽器オーケストラあいおい 箏奏者 新福かな

令和7年度伝統文化親子教室事業「アピカでつなぐ伝統文化 2025」★教室の部★が始まります！

昨年は、私は箏の講師を務めさせていただきました。大規模な体験会はアピカホールで何度か開催していただいていたのですが、親子教室事業は初めてで、特に箏は低学年のお子さんが多く、5回のお稽古で曲を完成させないといけないという中、なんとか形にするのに必死でした。ただ、今こうやって振り返ると、可愛いエピソードがたくさん思い浮かびます。お母さんと離れられず、ずっと泣いていた女の子。お稽古がスタートして数分が経ち、急に楽器の前にケロッとして座り、取り組み始めました。ご褒美の約束でも取り付けたのかな。思うように弾けなくて、悔し涙を流す子ども達も何人かいました。涙を拭き拭き何回もチャレンジする姿に、プライドを持って、しっかり目の前のことに向き合える子がたくさんいるんだなあと、感心したのを覚えています。1、2年生は特にいろいろ困難が多かったのですが、何か方法が無いかと考え、楽譜を整理して色付けし、さくらのイラストを書きました。それが見事にハマって目を輝かせて喜んでくれて、その後スムーズに楽譜が読めるように…。そんなこんな中、1番嬉しかったのは、他のジャンルも含めて全員揃って発表会に出演できたことです！最後までやり通すという、基本だけど、1番大事なこと。伝統文化を通じてその達成感を味

わってもらえて嬉しく思います。多感な時期の経験をとおして興味を持ってもらい、将来、箏曲部への入部だったり、三味線や日舞の鑑賞に歌舞伎座へ通ってくれたり、今すぐにも始めたいとなれば、アピカ和楽器教室で、箏の初心者コースも用意しています。日本の伝統文化が、皆さんの身近にあるものになってくれればいいなと願っています。

ということで、この号が発行される頃には、新たな参加者の皆さんが、練習に励んでいるはず。今年度は、三味線に代わって篠笛の教室、それから書道教室も加わり、さらに前回の5回のお稽古から、9回にボリュームアップして、もう少し丁寧に進められていると思います。発表会、作品展示は来年1月17日(土)です！是非、汗と涙、努力の結晶を見守りに、地域の皆さんにもお越しいただきたいと思っています。応援、よろしく願いたします！

9月7日より1月16日まで全9回の教室が始まりました！



2026年1月17日(土) 15時開演(14時30分開場)

第164回しばざくらコンサート 県民芸術劇場

和楽器オーケストラあいおい 「邦楽彩りキャンパス」

和楽器オーケストラあいおい 箏奏者 新福かな

伝統文化親子教室の発表会の後は、和楽器オーケストラあいおいのコンサートです。

メインプログラムは、あいおいのレパートリーの中で、今どきの子どもと昔の大人に聴いてもらいたい曲ナンバーワン、「合唱と和楽器オーケストラで綴る～日本の四季」(藝大の同期、作曲科の上田麻衣子さん編曲)です。

最近、幼稚園や小学校に鑑賞授業に伺い、日本古謡「さくらさくら」の歌を知らない子どもが多くなっている印象を受けます。日本の童謡、唱歌は、短いものであればたった8小節の中に、芸術やメッセージがぎゅっと濃縮されていて、途絶えさせないよう歌い継いでいきたいものですが、この曲は、春夏秋冬8曲のメドレーとなっています。「早春賦」に始まり、葉の花畑の「朧月夜」。元気印の「我は海の子」。故郷を想う「椰子の実」。「小さい秋」の気配からの「紅葉」。続く「村祭り」は器楽のみで壮大な転調を重ね、再びドーン「紅葉」(←クライマックス！編曲者は紅葉し散っていくことを、樹々たちの命の燃焼と表現)その後、高ぶった感情を落

ち着かせて「冬景色」。最後は春の訪れを感じながらのフィナーレ…。

美しい日本語の歌詞と、混声四部合唱の豊かなハーモニー。和楽器の素朴な音色は、これらの軽やかな曲にマッチし、また、総勢約50人の大合奏の迫力がアピカホールの空間を包み込む…。

ごめんなさい。一人で熱くなってしまいました。ですが、私がここでいくら文字にしても、1割も伝わりません。是非ぜひご来場を！

合唱団は、公募で集まっていただき、藝大の大先輩、頃安利秀先生にご指導をお願いしています。今からとても楽しみです！

前半は、こちらも必見！和楽器オーケストラの中の楽器をそれぞれフィーチャーした小編成の曲をお届けする予定です。

私たちの公演を主催してくださるアピカホールさん、助成してくださる兵庫県芸術文化協会さんに感謝し、メンバー一同来年1月17日を心待ちにしています。再度、皆さま是非お出かけください！



和'on Music Studio

1F 和'on Music Studio

音楽教室 Music School 英語リトミック/ストリートダンス/ピアノ/ヴァイオリン/ウクレレ・ギター/箏・三絃・尺八
レンタルスタジオ Rental Studio リハサル・発表会・サロンコンサート等

2F 一般社団法人 Oto 倶楽部

コンサート・伝統文化体験イベント企画制作/レコーディング・CD・PV企画制作
マネジメント：和楽器オーケストラあいおい/和魂洋才楽団 Oto Kazze

〒670-0896 兵庫県姫路市上大野 6-5-12
TEL 079-227-4585
E-MAIL info@wa-on.biz
https://wa-on.biz/studio





音楽に寄せて

♫ 4 音楽と共に歩んだ人生 (その3)

声楽家 (テノール) 頃安利秀

私たちの周りには、音楽が溢れています。どんな音楽と出会って、どんな音楽によって慰められ、励まされ、生きる勇気を与えられるかは、その人の人生の中で決して小さなことではありません。音楽と共に歩んだ人生、今回は関西学院大学時代の話です。

関西学院大学グリーククラブに入部して1年目の終わりに、ポルトガルで開催された第1回ヨーロッパ国際大学合唱祭に参加すること



ことができました。このことが、その後の私の進路にさらに大きな変化をもたらすこととなります。ポルトガルに世界各国から12の大学合唱団が集まってお互いの得意とする曲を披露

し、合同合唱等を通して交歓するという素晴らしい合唱祭でした。その中で感じたことは、どこの国の合唱団もエネルギーに溢れた演奏を、実に楽しそうに歌っていたことです。我が関学グリーククラブの演奏も、万雷の拍手を受けるほどの人気で迎えられましたが、私自身は音楽を楽しんで歌うということができませんでした。

帰国後に、仲間には申し訳なかったのですがグリーククラブを退部し、ひとりで音楽と向き合おうと心に決めました。文学部の場合、3回生から各専攻に分かれることになってい



たので、迷わず音楽美学を選び、本格的に「音楽とは何か」という問いと向き合うことになりました。しかし、いざ学問として音楽美学を始めるや否や、「美しい音楽とは何か?」という問いにぶつかりました。様々な音楽を聴いても、どれが美しい音楽なのか自分では判断できず、音楽美学を専攻する者としてこれは大きな問題でした。

そのことがあってから、私は自分の耳を鍛えるために、とにかくいい音楽をたくさん聴こうと思い、音楽雑誌で名演奏と言われているレコードを買ってきては、繰り返し狭い下宿でそれを聴きました。またレコードを買うために、ゴルフ場のキャディのアルバイトを始め、稼いだお小遣いはほとんどレコード代に注ぎ込み、まずベートーヴェンの交響曲を、フルトヴェングラーやジョージ・セル、ブル

ーノ・ワルター、ムラヴィンスキーといった大指揮者の演奏で聴きまくりました。そうしたら不思議にも、少しずつですが「美しい音楽」が自分の耳でも分かるようになってきたのです。

関西学院大学というミッション系の大学に在学していたこともあり、いつからか下宿近くのキリスト教の教会に通うようになり洗礼を受けてクリスチャンになりましたが、洗礼式では「美しいものが美しいとわかる心を与えてください」という祈りを捧げました。その祈りは、やがて少しずつですが叶えられていくことになるのでした。

大学の3回生になって自分の将来を考えた時には、もう音楽の道以外には考えられなくなっていました。ある時、教会音楽講習会の案内を見つけて、夏休みにそれを受講しに東

京まで行き、そこで後に恩師となる東京藝術大出身の声楽家の先生に出会い、これから進むべき道が示されました。それは、藝大の声楽科を受験するという無謀な挑戦でした。歌は合唱で歌っていたこともあり、何とかなるとしても、ピアノはまだ一度も習ったことがなく、入学試験まであと1年半しかないという中で、どこまで弾けるようになるかは見当もつきません。東京で月に1回の声楽のレッスン、ピアノは近くの先生にレッスンを受け、そのためのレッスン代はキャディのアルバイトで稼ぐという、結構大変な学生生活を送っていました。とにかく、入試の課題曲であるバッハの二声のインヴェンションが弾けるようになることを目指して毎日練習に励み、なんとか試験日までに弾けるようになりました。さあいよいよ藝大受験です。

(次回に続く)



プロフィール 頃安利秀 (ころやす としひで)

多可郡多可町八千代区出身。

関西学院大学文学部美学科を経て東京藝術大学声楽科を卒業。1982年にドイツ・デトモルト音楽大学に留学し、1985年よりチューリッヒ歌劇場、1988年よりバイエルン放送局の合唱団員として専属契約。またテノール独唱者としてもヨーロッパ各地で活躍。1991年に帰国、鳴門教育大学に着任し、2024年3月まで同大学教授として教育活動が続ける。鳴門教育大学名誉教授。現在、多可町中区に在住、北はりま第九合唱団や合唱団「バッハあひの会」等の合唱や発声の指導を行っている。



1月11日(日)・12日(月・祝) 各日10時開演／14時開演
(開場：各回開演30分前)

令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業

35mmフィルムで「小津安二郎監督作品特集」

西脇市在住 丸山弘光

私が小学校4・5年生の頃、テレビのない時代に初めて映像に接したのが、鰐淵晴子さん主演の“ノンちゃん雲に乗る”が小学校主催で蓬萊座で上映されたことを記憶しています。当時、子どもでも100円程度の入場料ではあるが、我が家の経済事情ではお好みの映画があっても簡単に見られなかったのです。

中学校時代になると織布産業が全盛期（ガチャマン時代）を迎え、西脇市では播紡、大丸紡、^{にっぽ}日布などの紡績工場や徳岡商店、小澤、後藤などの織布業者に勤める女性従業員約4,500人が、全国各地から“金の卵”と言われ働いていました。この頃はこれといったレジャー施設もなく、市内にある蓬萊座、寿座、西脇大劇、銀映、西映の5か所の映画館は、昼夜問わず大盛況だったようです。

高校時代になると、白黒であるがテレビ少しずつ普及し、我が家でも家族全員で番組を取り合いながら見ていたものです。私は家族が寝静まる深夜に、期末テストそっちのけで“ローハイド”を毎週見ていました。この頃からテレビが各家庭に1台から複数台に、事業所は各寮ごとに普及したため、市内5か所の映画館は、ピーク時から徐々に減少したように思われます。

私が市役所に勤めて2、3年たった頃に、小坂町の大島みち子さんが大病を患い入院され、その時に知り合われた方と“ミコとマコ”と呼び合う二人の文通が、マスコミで取

り上げられました。その後ミコは吉永小百合、マコは浜田光夫さん主演の“愛と死を見つめて”が映画化され、10年ぶりに蓬萊座で鑑賞したのを覚えています。

この時期から私は、洋画雑誌“スクリーン”を毎月購入し、クリント・イーストウッドの“荒野のストレンジャー”、ソフィア・ローレンの“ひまわり”、オードリー・ヘップバーンの“ローマの休日”など代表作を観に神戸や姫路の映画館へ友人を誘って行ったものでした。

1964年に日本で初めてオリンピックが開催され、同時にテレビが白黒からカラーに移行。その後、市の繊維産業が円高等により大幅に輸出が減少し、多くの事業所が倒産、廃業しました。このため、女子従業員も昭和50年代後半には殆ど西脇市から離れ、5か所の映画館も転出入口に合わせ、次々に閉館を余儀なくされたものと思われます。最後に残された大劇は1958年にオープンしてから50年間経営者の尾高常松社長の信念で興行活動を続けられましたが、2007年10月に閉館されました。この閉館記念に夫婦で鑑賞した“ニューシネマパラダイス”の上映は、映画を愛し続けた高尾社長の50年のフィナーレだったのだらうと思ひ出されます。

1月に上映される小津安二郎監督作品でも、当時のことを思い出せるかもしれません。

- ・1月11日(日) 10時開演「彼岸花」 14時開演「麦秋」
 - ・1月12日(月・祝) 10時開演「秋刀魚の味」 14時開演「東京物語」
- 入場料 各回500円(駐車場代別途)

お問い合わせ・チケットご予約(当日清算も可能)はこちらまで！
西脇市立音楽ホール「アピカホール」 TEL：0795-23-9000

かつての映画館のような空間で、小津安二郎監督の独創的な技法、「小津調」をお楽しみください。

チケット発売のお知らせ

10月18日(土)チケット発売! ☪ 10時より窓口販売 ☪ 13時より電話予約開始

第165回しばざくらコンサート
～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～
真冬の熱いクラシック

【と き】 2026年2月7日(土)
14時開演(13時開場)

【入場料】 一般 3,000円
大学生以下 1,000円(全席指定)

～中安修也&大西隆弘～
ピアノ ジョイント リサイタル

【と き】 2026年2月22日(日)
14時開演(13時30分開場)

【入場料】 一般 2,000円
高校生以下 1,000円(全席自由)

＊しばざくらシート18歳以下・20席限定500円

コンサートのお知らせ

Stella Apika Concert

12月14日(日) 14時開演(13時30分開場)

チケット発売中

入場料 おとな 1,500円 高校生以下 500円
出演者 梅田亜紀(ソプラノ) 大谷 幸 大西隆弘 高木美香 中安修也 光枝 優(ピアノ)
久保ふみ(ヴァイオリン) 賛助出演

プログラム ♪F.ショパン「アンダンテ・スピナートと華麗なる大ボロネーズ作品22」
♪山田耕作「この道」 尾高尚忠「ピアノのためのソナチネ」 ほか

宿泊・宴会・レストラン
皆様を心よりお待ちしております

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和心建設 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

音楽の 話・輪・和・Wa

「繋がり」

金川 史帆

幼い頃からピアノを習い「音楽はもう知っているし、中学校では新しいことに挑戦したい!!」と、固く思っていた小6の私。そんな私が、中学校で吹奏楽部の演奏を初めて聞いた時「吹奏楽部が私を呼んでいる!!」と感じたことを、

20年経った今でも鮮明に覚えている。思い上がりも甚だしいが、本当に呼ばれていたのかもしれないと思う。

中学校では、新しく知ることばかりの音楽の授業と部活動が楽しくて仕方なかった。秋には、部員全員で西脇市内の中学校の定期演奏会にわくわくしながら足を運んだ。隣接市に住む私には、西脇市の吹奏楽部の中学生がキラキラと輝いて見えた。自分たちの

ためにホールいっぱいにお客さんが来てくれる。市内には小学生から社会人まで多くの楽団があり、スタインウェイのある音楽ホールは市のシンボルのようだ。街全体が芸術で溢れていることが、中学生の私にはとても羨ましかった。そして、2つの夢ができた。「いつか藤原治先生の指揮で演奏してみたい」「中学校の音楽の先生になりたい」憧れの地に近づきたくて、市内の高校に進学して吹奏楽部に入部した。あの時、舞台にいた子たちと一緒に演奏していることが夢のようだった。そして、勇気を振り絞って西脇市吹奏楽団の扉を叩いた。念願の1つ目の夢が叶った。しかし、その数年後、まさか自分が西脇市で教員として採用されるとは…。憧れていた西脇市の中学生を牽引していく立場になることは…。

2つ目の夢を叶えたその先までは、想像していなかった。自分で自分にプレッシャーをかけ、正解のないものに正解を求めてしまう。そんな日々は決して楽ではない。それでもここまで来られたのは、幾度となく「間違っていない」と言ってくれてくれる、この地で音楽を通して繋がった方々のおかげだ。音楽を心から楽しみ、互いをリスペクトして高め合っていくことの大切さを、この地で教えてもらったのだと思う。

2つの大きな夢が叶い、私は今、想像していなかった未来を生きている。西脇中学校吹奏楽部定期演奏会の定番曲『Camarade』。治先生から受け継いだこの曲を演奏しているときは…。もしかすると、世界中の誰よりも幸せなのかもしれない。

(西脇市在住)

編集後記

『新おながく談義』を毎回楽しみにしています。頃安さんのお話を読んでみると、小中学生だった頃のこと、いつも思い出されます。

米づくりや畑仕事に忙しい農家ではありませんでしたが、こまどり姉妹やザ・ピーナッツ、鳥倉千代子等、当時の流行歌手のシングル盤がいろいろありました。両親はレコードを聴いて、昼間の疲れを癒していたのでしよう。歌が好きだった母親からは、『リングの唄』や『月がとつても青いから』等、たくさん歌を教えてもらい、一緒に歌ったものです。

ある日、母親と台所で昼食を作っていました。郵便屋さんが来られたのも気がつかず、大きな声で「パン、パン、パン、パァー」と、『パンのマーチ』と一緒に歌っていると、後ろから「こんにちは〜!」の声にびっくり!思わず母親と顔を見合わせて、「恥ずかし〜」と、互いに舌をペロッと出しました。今でもその光景が、蘇ってきます。(OKAMO)

●本館ギャラリー

第13回全国公募 「西脇市サムホール大賞」展

11月8日(土)
～12月7日(日)

全国から応募のあった作品の中から、入賞10点と入選190点の作品を展示します。
※最終日12月7日(日)は午後3時まで入館料：無料

●アトリエ アトリエ展

「第12回全国公募 西脇市サムホール大賞展受賞作家展」

VOL. 8
「小林美貴 展」
(大賞受賞者)
11月8日(土)
～12月7日(日)



※アトリエ入館無料

※会期の最終日は午後3時まで。

小林美貴 (慈童1)

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

第34回企画展 「にしわき横尾忠則コレクションV」展 ～10月26日(日)

今回で5回目となる当館が所蔵する西脇市出身の世界的美術家、横尾忠則のコレクション約500点の中から、選りすぐったポスターや関連資料を展示しています。

入館料 大人300円(250円)、65歳以上250円(200円)、
高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金
※障がい者割引有
※ココロカード利用可
※にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」との共通券有
※割引を受けられる方は、証明できるものをご提示ください。

西脇市岡之山美術館
〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1
開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜の場合は除く)
※10月27日(月)～11月7日(金)は展示替えのため休館

公益財団法人
西脇市文化・
スポーツ振興財団

西脇市市民交流施設周年事業

響け! 輝け! 日本を中心に! 第5回ミュージックベル・トーンチャイム 全国コンテスト

会場 西脇市市民交流施設 オリナスホール
〒677-0043 西脇市下戸田128-1



20th
NISHIWAKI CITY
西脇市創設20周年記念事業

2026.2.22日 13:00開演(12:30開場)
【全席自由席 入場無料】 ※入場には整理券が必要です。

♪整理券配布♪ 令和7年12月6日(土) から開始(9:00～17:00配布)

場所：播磨内陸生活文化総合センター「ドウジウム」 TEL 0795-22-5715 月曜休館(祝日の場合翌平日)
西脇市立音楽ホール「アピカホール」 TEL 0795-23-9000 水曜休館(祝日の場合翌平日)
西脇市市民交流施設「オリナスホール」 TEL 0795-24-3010 毎週木曜休館(祝日の場合翌平日)

お問合せ ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト事務局(ドウジウム内)
ご予約 〒677-0015 西脇市西脇790-14 TEL: 0795-22-5715
E-mail: nishiwaki-cs.project@star.ocn.ne.jp



アピカホール

催しガイド

10月～1月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日) 年末年始12月29日(月)～1月3日(土)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催・問 合 せ	特集記事
10/19(日)	西脇東中学校吹奏楽部定期演奏会 「第21回 ふれあいコンサート」	14:00開演 (13:30開場)	入場無料	西脇東中学校 ☎0795-22-3905	
11/1(土)	Stella☆Apika サロンコンサート (会場：ホワイエ)	11:00開演 (10:45開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
11/2(日)	Piano Concert 13th	13:00開演 (12:30開場)	関係者	大谷 幸	
11/9(日)	弦楽合奏団 Nature Ensemble ～よってらっしゃい! みてらっしゃい!!～	14:00開演 (13:30開場)	一般 2,000円 (当日500円増し) 中学生以下 1,000円 3歳以下無料	西山 枝里 ☎080-1423-9516	
11/23(日)	西脇工業高校吹奏楽部定期演奏会 第20回 パレットコンサート	14:00開演 (13:00開場)	入場無料	西脇工業高校 ☎0795-22-5506	
11/30(日)	小西達也コンサート2025 in 西脇	14:00開演 (13:30開場)	一般 2,000円 中学生以下 1,000円	武部 恵子 ☎090-7884-1024 ゆめぼらん・小西達也 ☎079-235-6185	
12/13(土)	第28回「アピカ・アンサンブルコンサート」	未定	無料 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/14(日)	ステラ アピカ コンサート Stella Apika Concert	14:00開演 (13:30開場)	おとな 1,500円 高校生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/21(日)	第31回 クリスマスコンサート	12:30開演	関係者	服部 文子	
12/26(金)	しばざくらコンサート関連事業 カジャ ソロ ライヴ KAJA SOLO LIVE	19:00開演 (18:00開場)	一般 3,000円 高校生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2～3
2025 1/11(日)・ 12(月・祝)	令和7年度優秀映画鑑賞推進事業新春アピカ名画座 35mmフィルムで「小津安二郎監督作品集」 11日10時「彼岸花」 14時「麦 秋」 12日10時「秋刀魚の味」 14時「東京物語」	各日 10:00開演 14:00開演	各回500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8～9
1/17(土)	令和7年度伝統文化親子教室事業 アピカでつなぐ伝統文化2025★教室の部★ 発表会&作品展示	作品展示(ホワイエ) 9:30～ 発表会 10:30開演	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P4
1/17(土)	第164回しばざくらコンサート 県民芸術劇場 和楽器オーケストラあいおい「邦楽彩りキャンパス」	15:00開演 (14:30開場)	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P5

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2025年9月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。